

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第1学年

【単元名】 ほいくえんのともしばなとおしばなであそぼう（9時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
自然を活かした作品づくりの楽しさや面白さ, それを他者へ伝える喜びに気付いている。	ペアの子が喜んでくれるためにどうしたらよいか考えたり, 押し花の楽しさを伝えたりしている。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「おしばなであそぼう」採集した春の草花を使って押し花で作品にした。

- ・春ならではの草花を採集する活動。
- ・草花を活かした遊びの楽しさに気付く。

生かす見方・考え方：気に入った押し花作品を作ろうと, 対象を自分とのかかわりで捉えること。

過程	学習活動（時間）	留意点
思いや願いをもつ	1 園児との交流に向けて, どのようなことをしてあげたらいいのか考える（1）	<p style="text-align: center;"><b>願いや見通しをもつ場面</b></p> <p>☞自分たちで押し花作りをしたことを思い出しながら, 園児が喜んでくれそうなものを考えるよう促す。</p>
	2 園児と一緒に押し花作りを楽しむための準備をする（2）	
活動への願い：保育園の友だちと一緒に押し花遊びを楽しみ, 満足する作品を作りたい。		
活動や体験をする 感じる・考える	3 園児と一緒に春の草花を採りに行き, 押し花づくりを教える（2）	<p style="text-align: center;"><b>個人で没頭する場面</b></p> <p>☞どんな草花がきれいに押し花になるか経験を生かしながら春の草花を探すようにする。</p> <p>☞自分たちで作った押し花の作り方を見ながら, 園児に押し花の作り方を教えられるようにする。</p>
	4 園児に押し花だよりを書き, 届ける（2） 5 園児と一緒に, 押し花の作品をつくる（1）	<p style="text-align: center;"><b>繰り返し試行錯誤する場面</b></p> <p>☞園児に優しく関わる姿を賞賛する。</p> <p>☞どんな作品を作りたいのかイメージを膨らませてから作品作りに入れるようにする。</p>
表現・行為する	6 園児との交流における自分たちの姿を写真で振り返る（1）	<p style="text-align: center;"><b>対象への気づきを表現する場面</b></p> <p>☞写真を見て, ペアの子に言われて嬉しかったことを思い出し, 自分たちの関わりのよさに気付くようにする。</p>

次単元へのつながり：「あきまつりをしよう」園児と交流し, 手作りおもちゃの面白さを伝える。

- ・伝えたいことや伝え方を選ぶ。
- ・園児と関わることのよさや楽しさが分かる。